

## 式 辞

真冬の寒さから日一日と春の日差しが感じられつつある今日の佳き日、大阪府立春日丘高等学校 平成29年度 第70回卒業証書授与式を挙げるにあたり、公私ご多用中にもかかわらず、大阪府教育庁ご代表をはじめ、多くの来賓の皆様のご臨席を賜り、門出に華を添えていただきましたこと、高いところからではございますが、心より厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

ただ今、319名の皆さんに卒業証書を授与いたしました。保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。保護者の皆様のご苦勞を考えますと、本日の思いはひとしおであろうとご拝察申しあげます。我々教職員にとりましても、喜びに心熱くなる思いがあります。改めてお祝いを申しあげます。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

今、卒業式に臨み、皆さんの脳裏にはどんな思い出が浮かんでいるでしょうか。自分の進路実現のために努力を積み重ねた勉強。青春のエネルギーを燃やした部活動。友人と力を合わせて取り組んだ体育祭や文化祭、クラスマッチや修学旅行などの学校行事でしょうか。そのいずれにおいても皆さんは一生懸命に取り組み、充実した高校生活を送り、自分の素晴らしい可能性を見つけてくれたものと信じています。しかし、その陰には、深い愛情を持って見守って下さったご家族の方や先生、友達等多くの人の励ましや支えがあったことを決して忘れてはいけません。そして、回りの人に支えられているということはこれから先も永遠に忘れないでください。

今日は本校を旅立っていく卒業生の皆さんに、オリックス株式会社の取締役兼代表執行役副社長の小島一雄（こじまかずお）氏の言葉をメッセージとして送りたいと思います。

『オリックスが求めるのは、チャレンジ精神が豊富でとにかく仕事を楽しめる人。そして会社に合わせるのではなく、自分のビジョンに会社のビジョンを引きよせるぐらいのパワーを持っている人です。自分の信念に基づいて動くことで、自然と周りの人間も同じ方向に向いていくようになる。そのためにも小さな成功を積み重ねて着実にステッ

プアップしてほしい。失敗が一番の勉強になる。一度失敗したからマイナスなのではなく、その経験を糧に更にチャレンジしてほしい。』

まさに、その通りだと思います。失敗を決して恐れるのではなく、失敗も一つの経験として次に活かしていくことが大切です。小さな成功がどんどん次のチャンスにつながっていくのです。どうか皆さんも常に新しいことに挑戦していく気概を失うことなく、常に勇気を持って前を向いて進んでいってほしいのです。皆さんの中に眠っている力は、計り知れないものがあります。素晴らしい可能性が秘められているのです。ほとんどの人はそれに気が付いていないだけなのです。自分の中に眠っている力を呼び覚ました人が大きな成功を収めることができるのです。

最期に、卒業生の皆さんが、春高生であったことを誇りとして、それぞれの目標に向かって努力し、活躍されることを心より祈念しています。皆さんの前途が洋々たるものとなり、幸多かれと祈念して式辞といたします。

平成30年2月28日

大阪府立春日丘高等学校 校長 福留 明富